LS(ロジカルサイエンス)

「批判的思考力(クリティカルシンキング)」 テクストクリティーク 編(5/6/7/8)

組番・氏名

1.主張と根拠を分析する

批判的読解とは、主として学術的文書において、そこに書かれてある立論すなわち根拠のある主張に対して、その論証過程の妥当性を問うことである。そのためには、主張とその根拠について分析することが重要であるが、段落ごとにその分析を進めていくのがよい。それはまた、論文の要約を作ることにもつながる。 具体的には、

各段落の中心的な主張に下線を引く。また、その主張の理由や証拠になる部分を欄外に括り記号で示す。 (段落が細分化しているときは、数段落まとめて上記の作業を行う)

主張およびその理由や証拠に対し、同意 不同意 x 理解不能? の印を欄外に付ける。 主張に x ? の場合、その理由を「なぜ、どういう意味、例えば」という形で、別に箇条書きしておく。 理由や根拠に x ? の場合、その箇所の欄外にその具体的内容をメモ書きしておく。

【例】(注:公開のため本文引用に代えて 当該頁行は下記 小段落ごとの内容を箇条書きで示してある)

・学校教育の問題は社会の要請にあわないカリキュラム

- ・難しい英文解読は習うが日常的な表現は習わない
- ・歴史は古い時代から習い現代との関連を知らない
- ・文章の書き方の訓練を受けず会社でテニヲハを習う
- ・学校のカリキュラムが惰性で組まれていることの反映
- ・古文や漢文を入試で課すことへの疑問(一橋大学はない)
- ・古典文法は非論理的で時代差が大きく思考力の訓練にもならない
- ・日本独自の漢文訓読法は現代中国人とコミュニケーションには無益
- ・教養たる鑑賞は有効
- ・感動的な漢詩を感受性の豊かな高校時代に覚えるべき
- ・『論語』『徒然草』等の暗記は資産になり百人一首・勅撰和歌集も同様
- ・中国人に漢詩や論語を暗唱して尊敬された(現代中国人は古典知識に乏しい)
- ・文法などに拘泥せず教養として学ぶべき
- ・時代の変化にカリキュラムが適応せず
- ・漢字の書き方を細かくみるテストはパソコン時代には時代錯誤
- ・ワープロのスペルチェッカ利用で英単語の難スペリングも覚える必要なし

(『「超」勉強法』野口悠紀雄 1995 講談社) P251L2-P252L2

- 1 -

- ・社会とはどういう意味で、その範囲は。
- ・なぜカリキュラムは社会の要請に合わないといけないのか。
- ・時代の変化とはどういう意味で、例えばそれは単に機器の発展だけを指すのか。

├ 証拠1・2・3

? 惰性の反映

(証拠1)×

≻ 理由1・2

×論理的でなく

×訓読とコミュニケーション

へ ロハロンじ ヘー・ユーノ・ノコ

?感動的な漢詩 譲歩

?資産=暗唱=尊敬

?単なる自慢

?時代錯誤

証拠1・2

×必要なくなった

[課題A](『「ケータイ・ネット人間」の精神分析』小此木啓吾 2000 飛鳥新社) P290L14-P292L12

- 2 -

[課題B](『日本人の笑い』深作光貞 1977 玉川大学出版部) P168L6-P170L6

「課題 C](『ひ弱な男とフワフワした女の国日本』マークス寿子 1997 草思社) P85L12-P87L7

[課題D](『「縮み」志向の日本人』イー・オリョン 1982 学生社) P70L2-P72L2

「課題E](『日本人のものの考え方』飛岡健 1999 実務教育出版) P13L3-P15L14

(注:公開のため本文引用に代えて当該頁行を示してある)

2.批判的読解としての反論	4.評価 反論を読んで公正に評価し、評点	をつける。										
1.で行った分析をもとに、立論 = 根拠のある主張に対して、反論を書く。その際、対象は一つの立論とし、主張およびその理由や証拠に対し、ひとつひとつ論理的かつ全体として体系的に批判をすること。	ア:表現の倫理は守られているか。 【 】 (個人の誹謗中傷、差別的発言等はないか) 1問題ない 2問題あり											
	イ:論理的か(接続詞は正しいか)。 【 】 1たいへん良い 2おおむね良い 3不適切な箇所がある 4不適切な箇所が多い ウ:立論は妥当か。 【 】 (意味規定は正しいか、理由は妥当か、必要な証拠があげられているか) 1優 2良 3可 4不可											
							キ:文章は読みやすいか。 (最後まで立ち止まらずに読める) 1優 2良 3可 4不可	[]				
							ク:誤字・脱字はないか。 1問題ない 2目について気になる	[]				
							ケ:ていねいに書かれているか。 1 ていねいだ 2 あまりていねいでは	【 】 ない 3字が汚っ	くて読む気か	がしない 4読む	かない	١
							3.上の反論に対する反駁(再反論)を書く。(課題文筆者の立場をふまえて)	5 . 評価 反駁(再反論)それぞれを読み、	公正に評価する。	,		
		・揚げ足取り等ではなく論理的反駁か。 ・筆者の立場をふまえているか。		2 曖昧 2 ズレ	3 非論理的		印) 印)					
		手目の立物とあるだているが。	1 1 1 2		3 (1/2, (1	1(υ Ι)					
		・揚げ足取り等ではなく論理的反駁か。	【 1論理的	2 曖昧	3 非論理的	1(印)					
	・筆者の立場をふまえているか。	【 1いる	2ズレ	3いない](印)						
	・揚げ足取り等ではなく論理的反駁か。	【 1 論理的	2 曖昧	3 非論理的	16	£Π \						
	・筆者の立場をふまえているか。	【 1いる	2 ズレ	3いない		印)						
	・揚げ足取り等ではなく論理的反駁か。 ・筆者の立場をふまえているか。	【 1論理的 【 1いる	2 曖昧 2 ズレ	3 非論理的 3 いない		印) 印)						
		(参考:河野哲也『)	レポート・論文	で記さ方人門第3点	饭』慶川	<i>応大学出</i>						

4 . 評価